

環境にやさしい生活を！ ～脱炭素社会の実現～



これまでの取組みと今後の予定

市では、緑豊かで優れた自然環境などを次世代へ引き継ぎ、持続可能なまちづくりを実現するため、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を行っています。（令和3年3月）

- 平成18年3月 地球温暖化対策実行計画（事務事業編） 策定
- 令和3年3月 羽島市環境基本計画 策定
- 令和4年3月 地球温暖化対策実行計画（区域施策編） 策定予定

私もできる！今日から始める環境にやさしい生活とは？

環境にやさしい持続的に発展するまちを目指すには、循環型社会の形成が必要です。今回、ごみの減量や再利用及び再資源をはじめ、廃棄物の適正処理など、環境にやさしい持続的に取り組むべき具体的な事例として「3きり運動」を紹介します。私たち一人ひとりが、今日から取り組めるものばかりですので、積極的に取り入れましょう。

生ごみの減量化に向け「3きり運動」に取り組みましょう！

「水きり」

・ 生ごみを出すときは水気を切りましょう。

- ①濡らさない
- ②ひとしぼり
- ③乾燥させる

「使いきり」

・ 食材は無駄なく使い切りましょう。

- ①冷蔵庫在庫チェック
- ②買いすぎない
- ③アレンジして使い切る

「食べきり」

・ 料理は残さず食べきりましょう。

- ①食べきれぬ量だけ作り残ったら冷凍冷蔵保存
- ②外食時は食べきれぬ量だけ注文

羽島市の家庭から出る燃やせるごみの中で、生ごみは1番多く、約40%を占めています。生ごみのうち、約70%が水分と言われており、「水切り」をすることで、ごみを大幅に減らすことができます。

更に、生ごみの中には、冷蔵庫などに入れたまま期限切れとなったものや、食べられるのに捨てられてしまうもの、いわゆる「食品ロス」も含まれています。

最後に（皆さんへのお願い）

水と緑が豊かな自然を残す市の環境をより良い形で将来の世代へ引き継ぐことは、今を生きる私たちの責務です。皆さんに身近なごみの減量・資源化の推進、脱炭素社会の実現などは、今の子供たちへ引き継ぐ前に、私たちが考え解消すべき課題です。

近年の地球温暖化問題をはじめ、顕在化する環境問題は私たち一人ひとりの行動や心がけで変わります。他人ごとでなく自分ごとと考え、皆さんで取り組んでいきましょう。